

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)柏の葉キャンパスプロジェクト新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境							0.40		-	2.6
1 音環境						2.5	0.15	2.7	1.00	2.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						2.9	0.40	2.3	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.98	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.01	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						1.0	0.01	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		L値=55(学校)				4.0	0.01	3.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						1.3	0.35	2.0	1.00	1.7
2.1 室温制御						1.7	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.39	3.0	0.57	
2 外皮性能						1.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						1.0	0.36	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.3	1.00	3.1
3.1 昼光利用						3.0	0.31	3.0	0.30	
1 昼光率						3.0	0.58	3.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.42	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.29	4.0	0.30	
1 昼光制御		カーテンと庇を組み合わせる制御(ホテル・宿泊)				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.14	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.26	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.2	0.25	3.5	1.00	3.3
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		天井裏を含めほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.30	2.6	0.38	
1 換気量						3.0	0.49	3.0	0.33	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積を多く設けている				5.0	0.01	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.49	1.0	0.33	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.04	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.96	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.3
1 機能性						2.2	0.40	1.4	1.00	1.7
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	1.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	1.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応						-	-	1.0	0.50	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						1.0	0.03	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.01	-	-	
3 内装計画						1.0	0.96	1.0	0.50	
1.3 維持管理						2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装仕上げ材を使用				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		耐用年数が短くなるダクトは全面的にガルバリウム等を採用				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材を使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.0	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり			4.0	0.02	1.0	0.50	
1	階高のゆとり	階高を確保することで将来の用途変更へ考慮(学校)(物販)	4.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	空間の自由さを確保し将来の用途変更へ考慮(共用)	4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.02	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.96		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.66	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGSI工法、ユニット部材の採用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	